



Ⅰ 直進時の危険

一時停止規制場所では確実に停止しよう

一時停止規制場所で確実に一時停止することで、交通事故の発生や、事故の被害を最小限にとどめることができます。減速や徐行ではなく、確実な一時停止を実践してください。

Ⅱ 右折時の危険

右折時は、その先の横断歩道上の安全確認を怠らない

右折時には、対向車線ばかりに気をとられ、その先の横断歩道上の安全確認が疎かになりがちです。油断せずに、右折先の横断歩道上の安全確認まで徹底してください。

Ⅲ 左折時の危険

左折の合図は、交差点の手前30m先から確実に

交差点を左折する際の合図は、交差点の直前ではなく、交差点の30m手前から、早めに出しましょう。自車の行動を周囲に伝えることは、後続車の追突や巻込み防止等につながります。

Ⅳ 発進・停止時の危険

信号待ちをする際にも、前車との車間距離を確保しよう

交差点で停止する際にも、前車との車間距離は確保しておきましょう。目安として、運転席から前車の後輪が見えるくらいの距離、前車がトラブル等で発進できなくなっても、回避できるくらいの距離は必要です。